

## ◆野田首相と面会回数が多い10人

順位	名前	延べ回数
1 (1)	手塚仁雄首相補佐官	181
2 (2)	藤村官房長官	109
3 (7)	斎藤勁官房副長官	75
4 (3)	長浜博行官房副長官	59
5 (7)	前原・民主党政調会長	50
6 (4)	古川国家戦略相	49
6 (5)	長島昭久首相補佐官	49
8 (5)	輿石・民主党幹事長	47
9 (10)	安住財務相	44
10 (9)	樽床伸二・民主党幹事長代行	39

\*2011年9月2日～12年2月29日、読売新聞「首相の一日」をもとに集計。閣議や出張の同行、会議・行事での形式的な同席は含まない。カッコ内は政権発足3か月時点での順位

読売新聞が野田首相の面会相手を就任3か月の頃と比較したところ、沖縄問題を担当する斎藤勁官房副長官と会う頻度が増えた。首相の沖縄訪問に向けた下準備や国會答弁の打ち合わせのためとみられる。民主党の輿石幹事長と面会する頻度は減ったが、「頻繁に電話して意思疎通は欠かしてない」（政府高官）という。

## 沖縄担当官房副長官と面会増 就任時と比較

首相官邸を離れて会食する頻度も昨年中の8・6日に一回から、今年は4日に1回に増えた。消費税増税や行政改革に理解の深い御手洗富士夫キヤノン会長や茂木友三郎キッコーマン名誉会長ら財界人も目立つ。藤村氏、岡田氏とひそかに相談もう通常国会開会以降、平日の執務中に2時間以上面会のない時間帯も6回あった。外部から見えないよう首相執務室に入ったり。藤村官房長官や岡田副総理と相談していることも多いといふ。